

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1368 号	氏名	安藤 豪
学位審査委員	主査	安田 二郎	
	副査	西田 教行	
	副査	好井 健太朗	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、マダニが媒介する人獣共通感染症である重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の病原体でヒトに高病原性を示す SFTS ウイルスについて、伴侶動物であるネコからの感染リスクを評価することを目的としており、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>長崎県内の動物病院から SFTS 疑いのネコ 133 例の検体を収集し、リアルタイム RT-PCR によるウイルス RNA の検出、更にウイルス分離を行い、ウイルス全ゲノム解析、培養細胞における増殖性とマウスにおける病原性に関するウイルス株間の比較解析を行っており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>30 株のウイルスを分離することに成功し、ゲノム解析の結果からそれらの遺伝子型を明らかにし、2 株が遺伝子再集合体である可能性も示唆しており、SFTS ウイルスの分子疫学上有益な情報が得られた。ネコにおける予後と培養細胞における増殖性およびマウスにおける病原性の間には相関関係が認められなかったが、異なる培養細胞を用いた解析や宿主因子に注目した解析により、本研究が進展する可能性はあると思われる。また、獣医スタッフ 71 名の抗体調査では、2 名から中和抗体を検出しており、感染ネコからの感染のリスクを示唆することにより、獣医スタッフや飼い主に 対する適切な注意喚起が必要なことが示された。</p> <p>以上のように本論文は人獣共通感染症である SFTS の感染リスク評価及びその対策に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと